



“感謝を込めて”

# 広島交響楽団

## 2016「平和の夕べ」コンサート 記憶の彼方へ～孤高のシンフォニー

### Program

シューマン：ピアノ協奏曲イ短調 Op.54

Schumann: Piano Concerto in A minor Op.54

ブルックナー：交響曲第9番ニ短調（ノーヴァク版）

Bruckner: Symphony No.9 in D minor (Nowak Edition)

©Akira Muto

*Piano*  
*Mami Nagiwaru*

2016.8.5 [金] 18:45開演  
(17:45開場)

広島国際会議場フェニックスホール

指揮：マティアス・バーメルト ピアノ：萩原麻未

管弦楽：広島交響楽団

チケット料金（税込/全席指定）

S席：5,200円（ペア：9,400円）、A席：4,200円、

B席：3,200円、学生券：1,500円

◆チケット発売日

一般プレイガイド 2016年6月5日（日）／ 広響事務局 2016年6月6日（月）

◆プレイガイド

JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、エディオン広島本店、福屋八丁瀬本店、  
福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツセンター、ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、  
チケットぴあ（Pコード288-702）、ローソンチケット（Lコード65553）、中国新聞社読者広報部、  
中国新聞販売所（取り寄せ）、広響事務局（学生は広響事務局のみ販売）

主催／広島市、公益財団法人広島市文化財団、  
公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成／文化庁文化芸術振興費補助金  
（舞台芸術創造活動活性化事業）

お問い合わせ／広響事務局 TEL：082-532-3080

私たちは、ピース・アーチ・ひろしまプロジェクトを応援しています。



*Conductor*  
*Matthias Bamert*



# 2016「平和の夕べ」コンサート

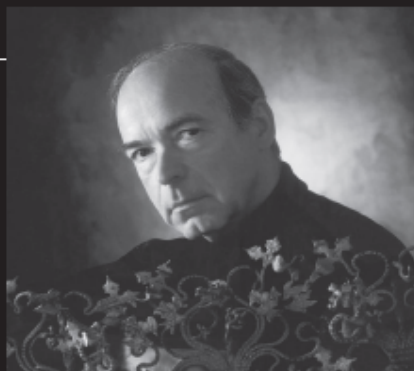
## 記憶の彼方へ ～孤高のシンフォニー

被爆71年目の夏、広島が世界に誇るピアニスト、萩原麻未が満を持して登場します。  
過去の忌まわしい記憶を浄化するかのような優しさと祈りを込めて、シューマンの名作に挑みます。

指揮はスイス出身で、かのジョージ・セルに弟子入りした後、ストコフスキーの助手となり、マゼール時代のクリーヴランド管弦楽団で常任指揮者を務め、世界的に活躍する74歳の巨匠マティアス・バーメルトを迎え、ブルックナー最後のシンフォニーにして未完の大作「第9番」をお聴きいただきます。

### 指揮 マティアス・バーメルト Matthias Bamert

スイス生まれ。作曲をブーレーズとシュトックハウゼンに学び、ジョージ・セルとストコフスキーの助手を務めた。これまでに、クリーヴランド管常任指揮者、スイス放送音楽監督、ロンドン・モーツァルト・プレイヤーズ音楽監督、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管首席客演指揮者、ニュージーランド響首席客演指揮者、マレーシア・フィル首席指揮者を歴任。また、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、バリ管、シカゴ響、ロサンゼルス・フィル、サントペテルブルク・フィル、ウィーン響、ライプツィヒMDR響、BBC響、パーミンガム市響等、世界各地のオーケストラを指揮している。1992～98年ルツェルン音楽祭の監督のほか、グラスゴーの現代音楽フェスティバル「ムジカ・ノヴァ」の監督等を務め、革新的なプログラミングで評判を呼んだ。80枚以上の録音作品をリリースしており、その多くは国際的な賞を受賞している。



### ピアノ 萩原 麻未 Mami Hagiwara

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール（ピアノ部門）において、日本人として初めて優勝。年によって1位を出さないこの伝統あるコンクールでの8年ぶりの優勝となった。広島県出身。第27回バルマードー国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。広島音楽高等学校を卒業後、文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルトウム音楽院を卒業。現在、パリを拠点に日本、フランス、スイス、ドイツ、イタリアなどでソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行っている。これまでに、スイス・ロマンド管、南西ドイツ放送管など、国内外における主要オーケストラと共演を重ねている。2014年にはトヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン、ヴォーチェ音楽四重奏団とも共演、好評を博した。近年では広島市民賞のほか、ひろしまフェニックス賞特別賞、ミュージックペンクラブ・新人賞、第13回ホテルオークラ音楽賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第22回出光音楽賞、文化庁長官表彰（国際芸術部門）など多数受賞。



### 広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国唯一の常設プロオーケストラ広島は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間的140回を超える演奏活動を行っている。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール（広響初）で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。特にサントリーホール公演では天皇・皇后両陛下のご臨席を賜り、天覧公演となった。これを機にアルゲリッチに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動を続けることを約束した。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞（2013年度）」を受賞。

